

教科・科目	文学国語	学年	2年	授業者	嶋村 直哉
単元名	月が象徴するものをいろいろな角度から読み取ろう				
教材	『静夜思』、『月夜』、『月やあらむ』『三日月』				

1 単元の目標

●(文学国語)

[知識及び技能]

・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。【(1)ウ】

[思考力・判断力・表現力]

・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。

【B 読むこと キ】

[学びに向かう力, 人間性等]

・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

2 本単元における言語活動

現古にわたる「月」に関わる文学作品を読んで、その象徴性(メタファー)について読み取る。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	・読むことにおいて設定した題材に関連する複数の作品の読み取りを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作品の読み比べを通して、ものの見方や感じ方が自分の中でどう変化するのかを粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画(全4時間)

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
事前の学習活動	<p>○生徒の研究発表(山月記)</p> <p>○なぜ李徴は虎になったのかについて、協議する。</p> <p>○なぜ李徴が詩を書こうと思ったのかについて協議する。</p> <p>○なぜ「山月記」という作品名にしたのかについて協議する。</p> <p>○感想・意見シートの提出</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思・判・表 読むこと】</p> <p>【主体的態度】</p>	<p>意見シート(知)</p> <p>発表の内容(読)</p> <p>質問の内容(読)</p> <p>感想シート(主)</p>

1次 2 時間	<p>○文学作品におけるメタファーを説明する。</p> <p>○例示として、宮澤賢治「オツベルと象」を読む</p> <p>○オツベルと象での「月」は何の象徴なのか考える。</p> <p>○「オツベルと象」において「月」が作品にどう影響しているかを考え、グループごとに協議シートへ記入する。</p> <p>○「月」が描かれている他の作品では、どのようなメタファーになっているかを調べて探究するという課題を提示する。</p> <p>○次の時間までに、「月」に関して自分たちのレポートを作成することを提示する。</p>	【知識・技能】	記述の点検 協議シートの点検 (知識・技能)
2次 1 時間	<p>○班ごとにレポート発表をする。(班単位で全体)</p> <p>○なぜそのメタファーで表現したかを考える。</p> <p>○特徴とメタファーは関係していることに気づく</p> <p>○メタファーを使った文学作品を今まで読んだことがあるかを考える。(メタファーが文学作品で頻出であることに気づく)</p> <p>○他の作品にはどのような象徴性が隠れているかをレポートにまとめる。</p>	【思・判・表 読むこと】	記述の分析 レポートの分析 (思・判・表 読むこと)
3次 1 時間	<p>○各人のレポートについて、良い着眼点であるものを全体で共有し、メタファーのついでの振り返りをする。</p>	【主体的態度】	記述の点検 振り返りシートの点検(主)

5 単元の流れ

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>① ○文学作品におけるメタファーを説明する。</p> <p>・例示として、宮澤賢治「オツベルと象」を読む</p> <p>② ○オツベルと象での「月」は何の象徴か考える。</p> <p>・「オツベルと象」において「月」が作品にどう影響しているかを考える。</p> <p>③ ○「月」が描かれている他の作品では、どのようなメタファーに</p>	<p>文学作品では作品に描かれるものが何かを象徴的に示していると説明。</p> <p>オツベルと象の本文を青空文庫で確認する。</p> <p>ここでは「月」が作中でどう描かれているか、そしてそれがどう影響しているかを読み取る。読み取りの内容をグループ協議して深める。</p> <p>ジグソー法を用いる。それぞれのグループに、李白「静夜思」、杜甫「月夜」、</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>「記述の点検」</p> <p>・月の描かれ方についての協議内容を記録して提出する。</p> <p>・「月」の特徴とそこから読めるメタファーが正確かを点検する。</p>

		<p>なっているかを調べて探究するという課題を提示する。</p> <p>・次の時間までに、「月」に関して自分たちのレポートを作成することを提示する。</p>	<p>伊勢物語「月やあらぬ」、絢花「三日月」を提示。</p> <p>作品における「月」の象徴性(メタファー)、その理由になる「月」の特徴をまとめるレポートを作成する。</p> <p>レポートの内容は簡単に発表することを伝える。</p> <p>残った時間はレポート作成の時間とする。</p>	
2	<p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	<p>○班ごとにレポート発表をする(班単位で全体へ発表)</p> <p>○メタファーがなぜ起きるのかを考える。</p> <p>・特徴とメタファーは関係していることに気づく</p> <p>○文学において象徴性やメタファーを読むことは頻出であることを伝える。</p> <p>・他の作品にはどのような象徴性が隠れているかをレポートにまとめる。</p>	<p>各グループの4つの文学作品の研究結果を発表する。グループ発表が終わったら、教師が簡単に要点をまとめる。</p> <p>なぜ『月』で表現しなければいけなかったかを考える。(ジャムボードを元にする)</p> <p>『太陽』と『月』だと、どんな違いがでるかを考えることで、特徴とメタファーの関連性に気づくためのヒントを教師側から示す</p> <p>※ジャムボードで『月』と『太陽』の共通点、相違点を明らかにする。そうすることで、「遠くの人に思いを馳せる」などは、太陽ではそぐわないことを確認する。</p> <p>横光利一の「蠅」を読み、特徴と象徴性をレポートにまとめる。</p>	<p>【思・判・表 読むこと】</p> <p>「記述の分析」</p> <p>・他の作品におけるメタファーについてまとめたレポートを提出する。</p> <p>・蠅の特徴と、何の象徴なのかを明確に記述されており、その関連性に触れながら論理的な記述ができてきているかを分析する。</p>

3	⑦	○各人のレポートについて、良い着眼点であるものを全体で共有し、メタファーのついでの振り返りをする。	メタファーについての振り返りシートを作成する。	【主体的態度】 「記述の点検」 ・メタファーについての振り返りシートを提出する。 ・他者のレポートの良い例を見て、自分の考えを深められているかを点検する。
---	---	---	-------------------------	---